

2019年3月期 通期
決算概況

 **コニシ株式会社**



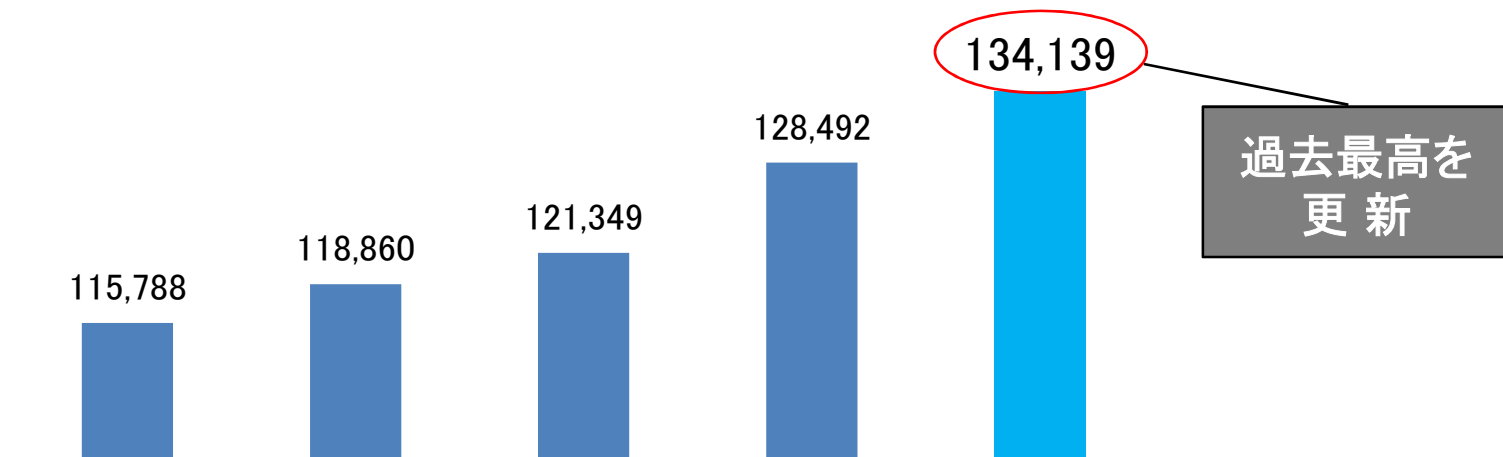
		前期比	計画比
売上高	134,139百万円	(+ 4.4%)	(△ 0.6%)
営業利益	7,031百万円	(△ 2.9%)	(△ 8.1%)
経常利益	7,182百万円	(△ 2.0%)	(△ 7.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,404百万円	(△ 4.6%)	(△ 10.5%)

経営成績5年間の推移(連結)

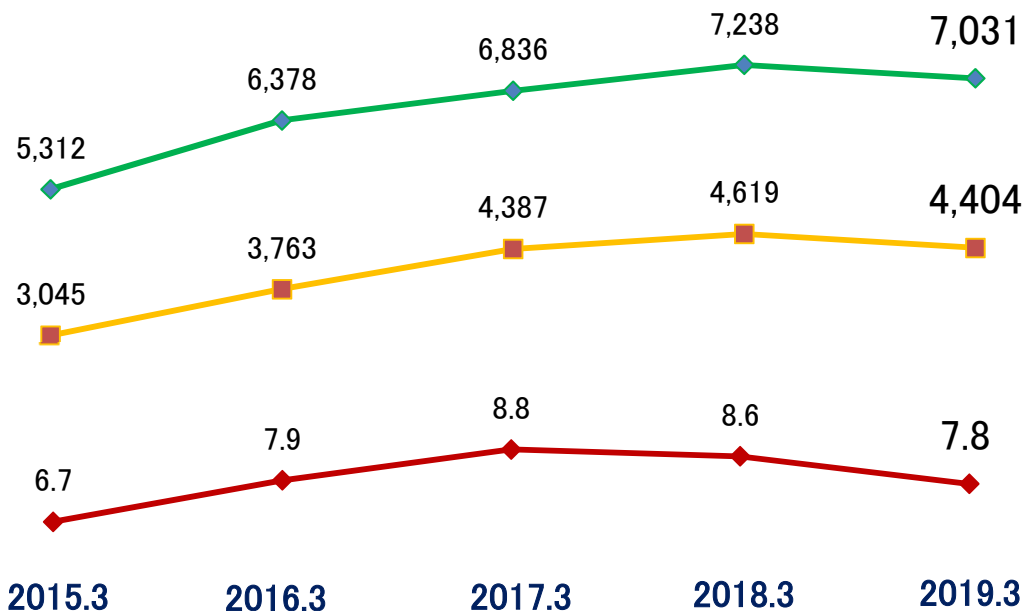
◆売上は5期連続で過去最高を更新、利益は原材料・輸送費の高騰が響き減益

(単位:百万円)

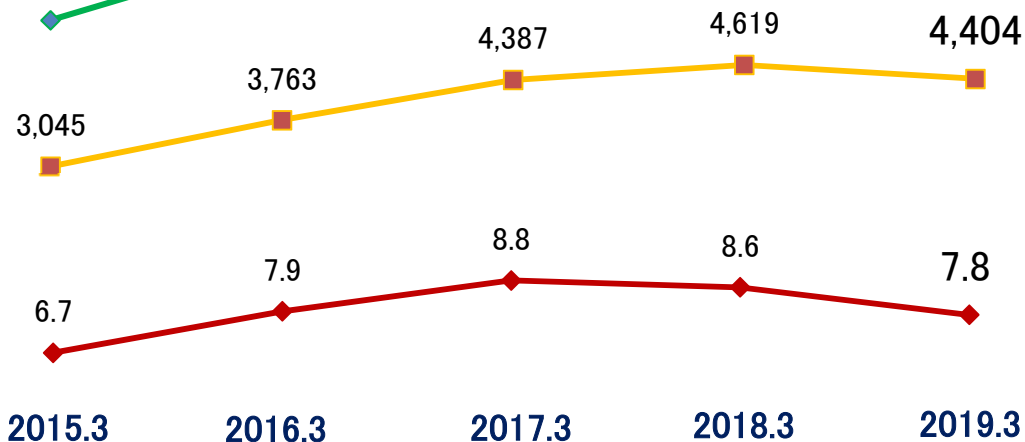
◆ 売上高



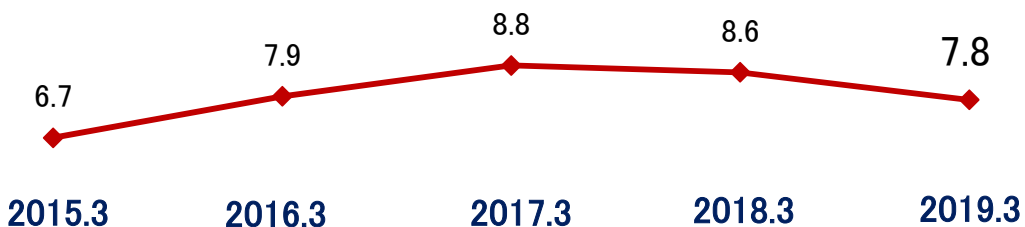
◆ 営業利益



◆ 親会社株主に帰属する当期純利益

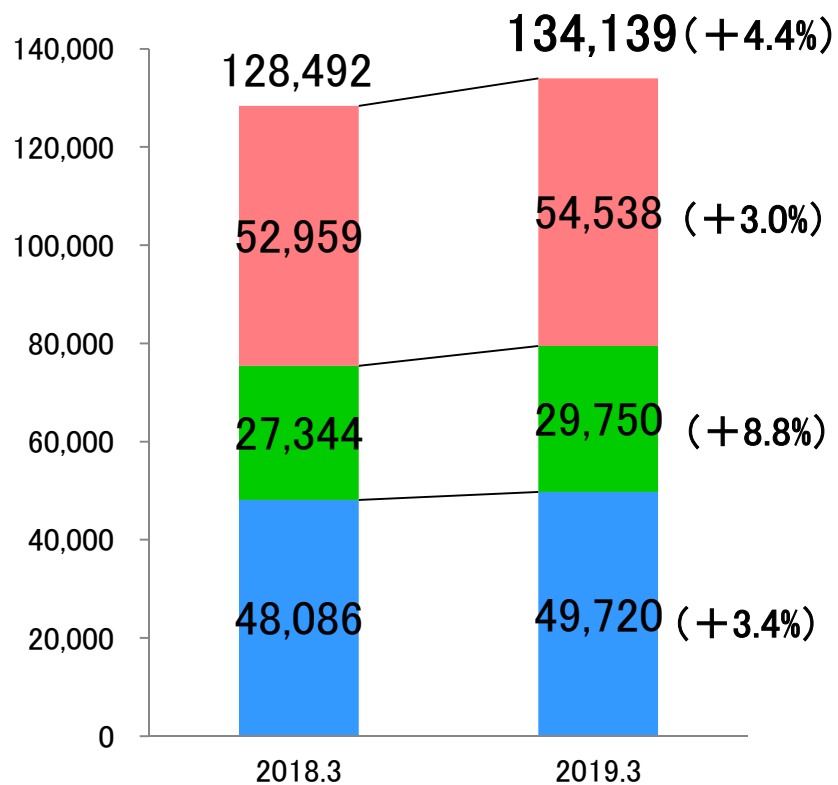


◆ ROE (%)



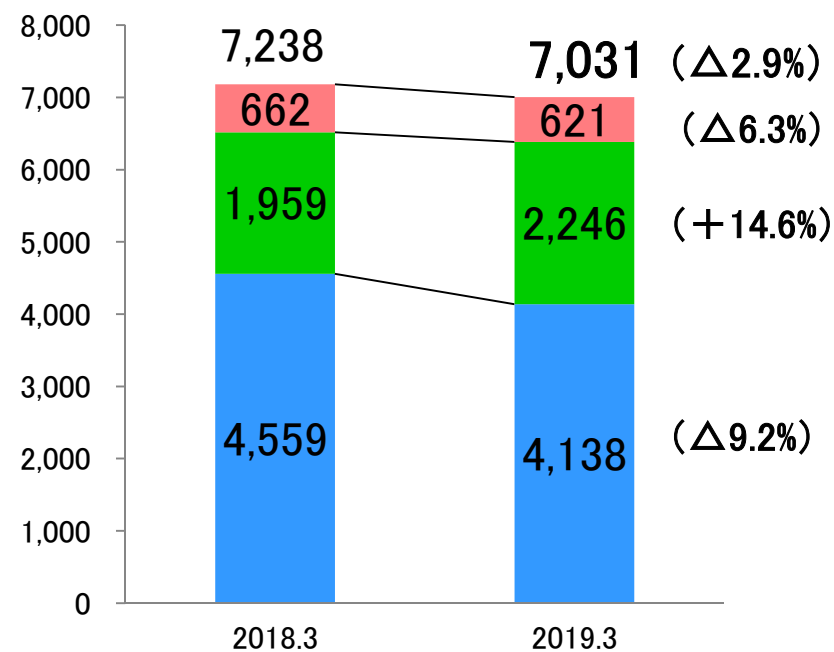
売上高

✓ 各セグメントで増収



営業利益

- ・ボンドは原材料・輸送コストの高騰により減益
- ✓ 土木建設は工事請負事業が好調で増益
- ・化成品は利益率の低下により減益



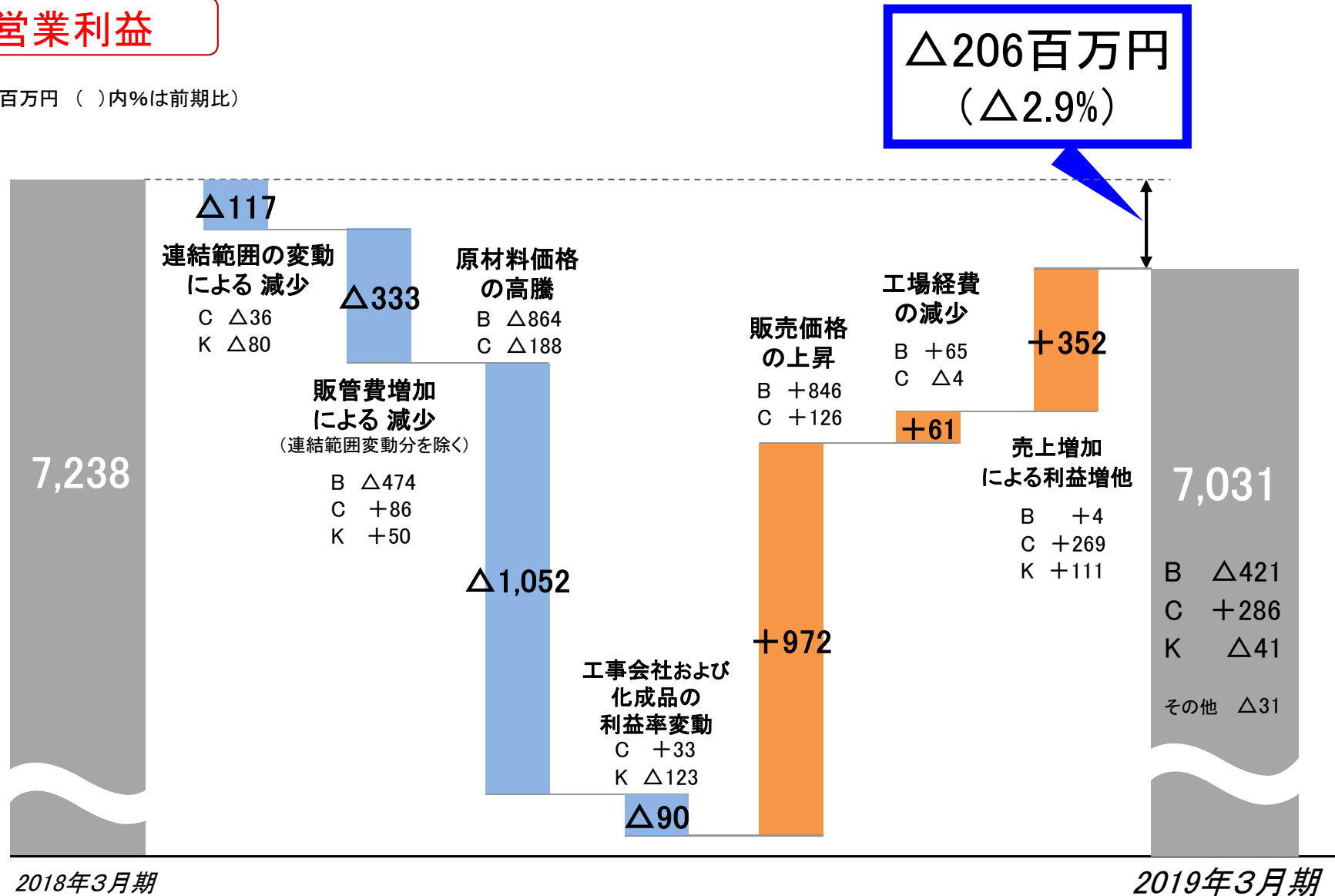
■ ボンド
 ■ 土木建設
 ■ 化成品

(単位:百万円 ()内%は前期比)

営業利益の主な増減要因(連結)

営業利益

(単位:百万円 ()内%は前期比)

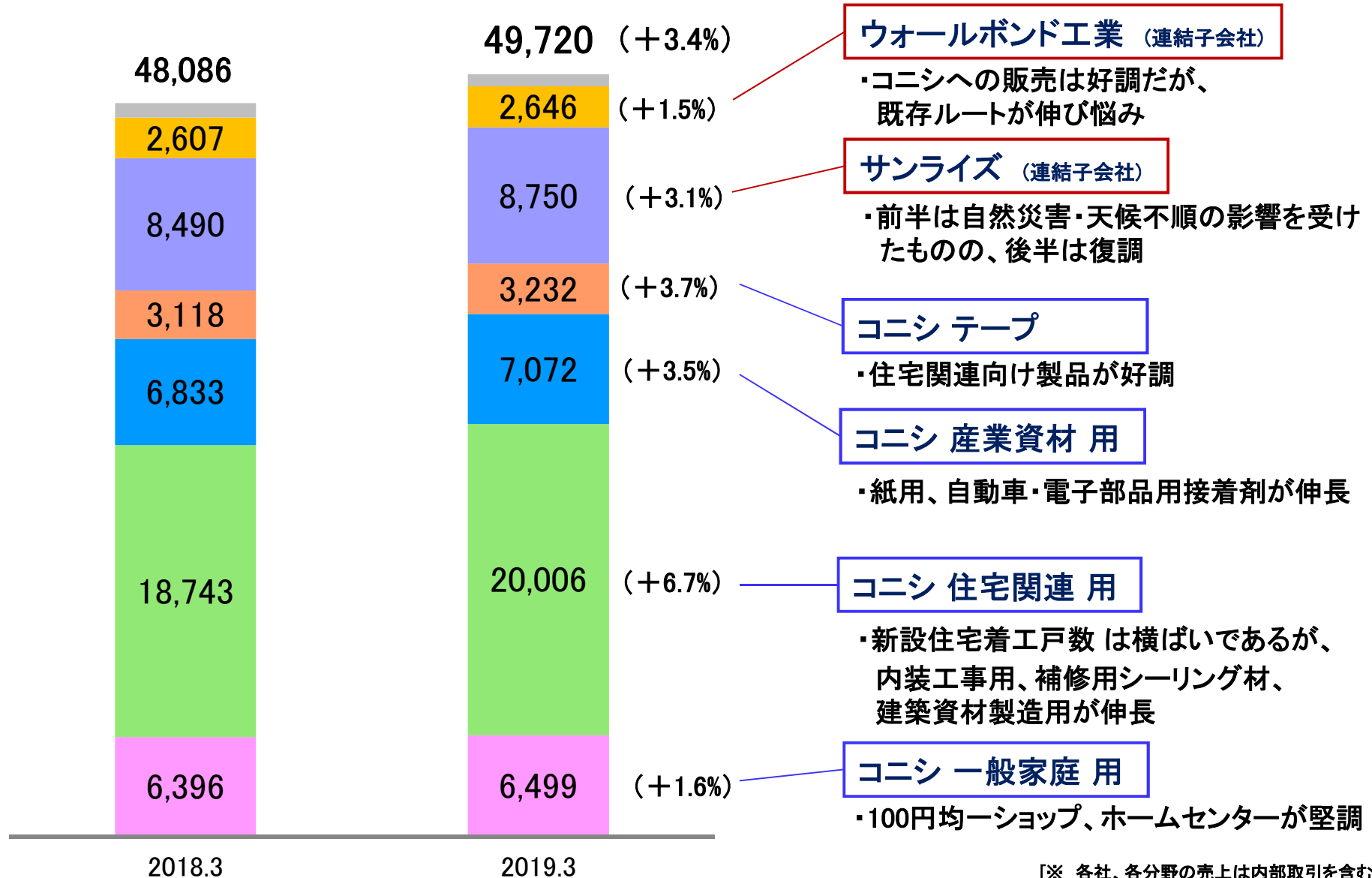


B = ボンド C = 土木建設 K = 化成品

■ ボンドセグメント 主な業界別売上高

売上高

(単位:百万円 ()内%は前期比)

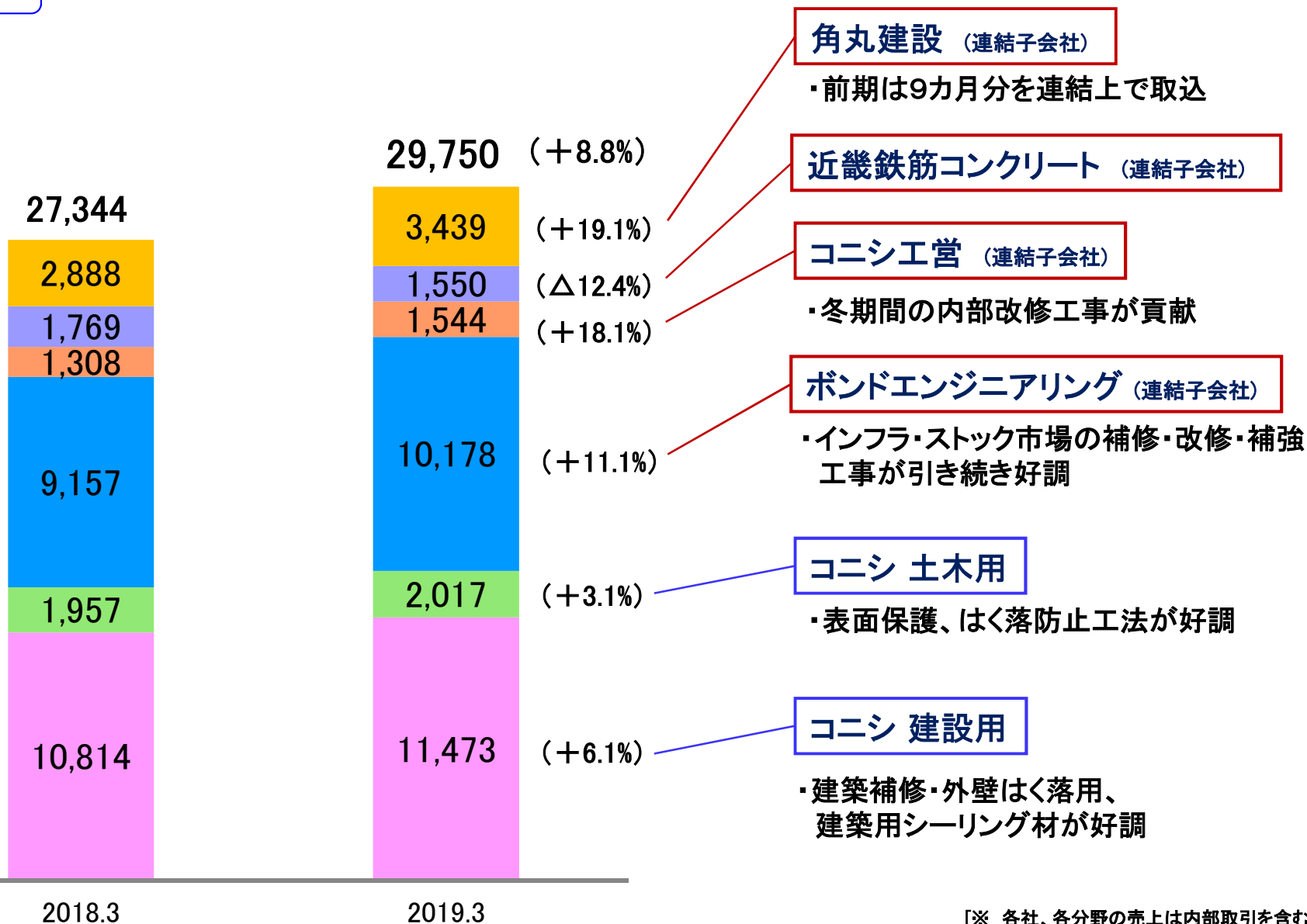


[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]

土木建設セグメント 主な業界別売上高

売上高

(単位:百万円 ()内%は前期比)

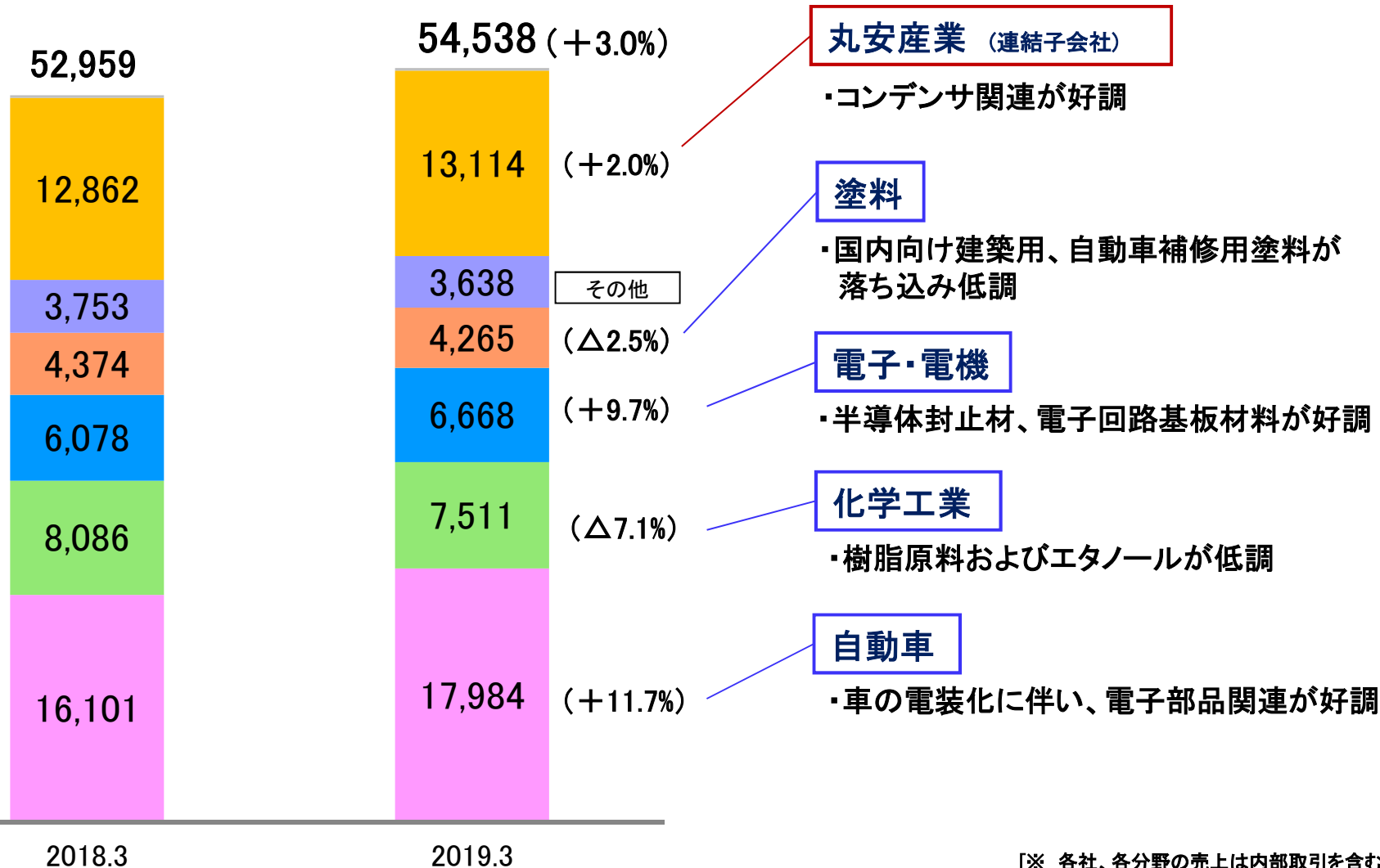


[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]

化成品セグメント 主な業界別売上高

売上高

(単位:百万円 ()内%は前期比)



[※ 各社、各分野の売上は内部取引を含む]

①「ウォールボンド工業」製造設備の新設(滋賀)

・「壁紙用接着剤」の西日本製造拠点が完成



シェアの低い西日本エリアへ
コニシルートを活用し、さらに拡販を強化！



②「コニシレミンドベトナム」製造設備の増設

・「木工家具業界向け接着剤」の
生産能力が倍増
(生産能力: 200t → 440t/月)



ベトナムだけでなく、周辺国への
販売をさらに強化
(タイ、カンボジア、ミャンマー)



③大阪本社ビルを自社ビルへ

- ・大阪本社が入居しているビルの持分を追加取得し
自社ビル化（2019年2月：取得費用46億円）
- ・2019年10月より、「北浜コニシビル」へ名称変更



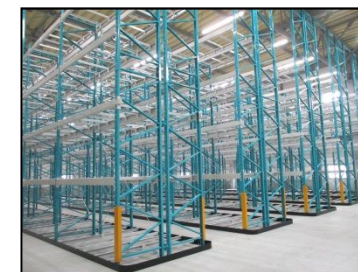
④「コンテナ自動ラック倉庫」を建設(滋賀)

- ・1t コンテナ製品が、最大1,500個 収納可能
- ・QRコードを読み取り、自動でラックに格納
（入出庫作業時間の短縮化）



⑤「サンライズ小山物流倉庫」を建設（栃木）

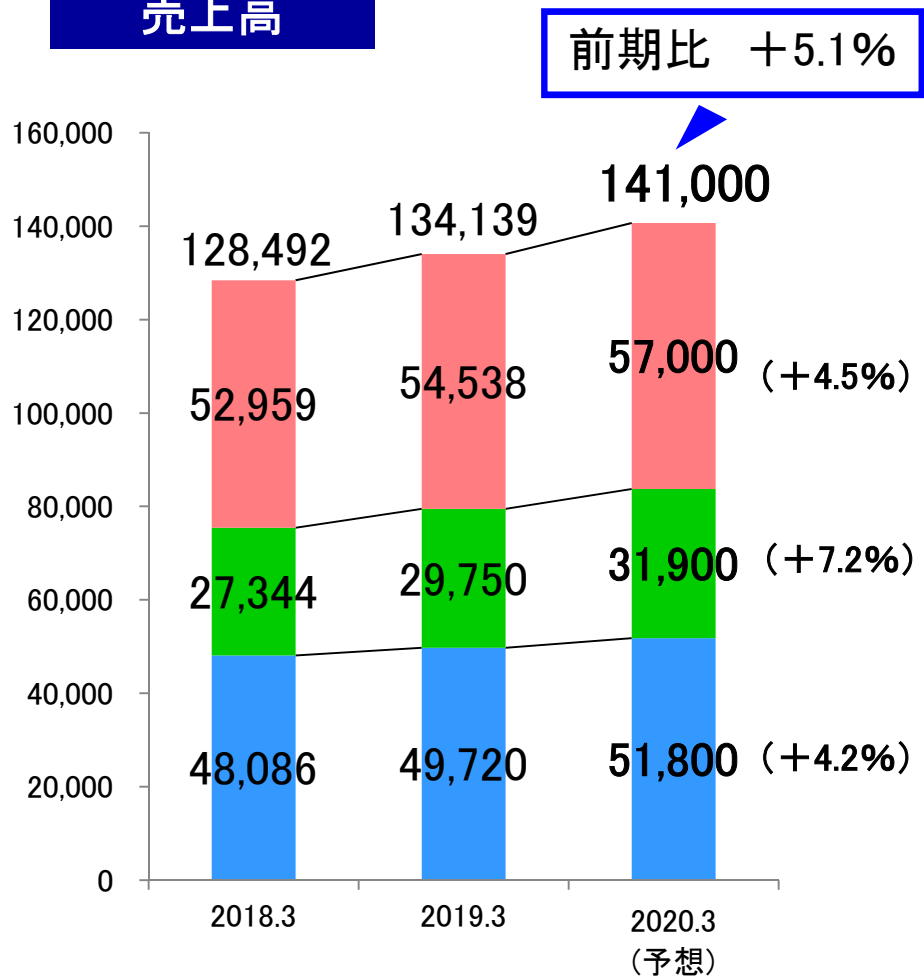
- ・サンライズの東日本物流拠点が完成
- ・パレット 1,200枚 収納可能



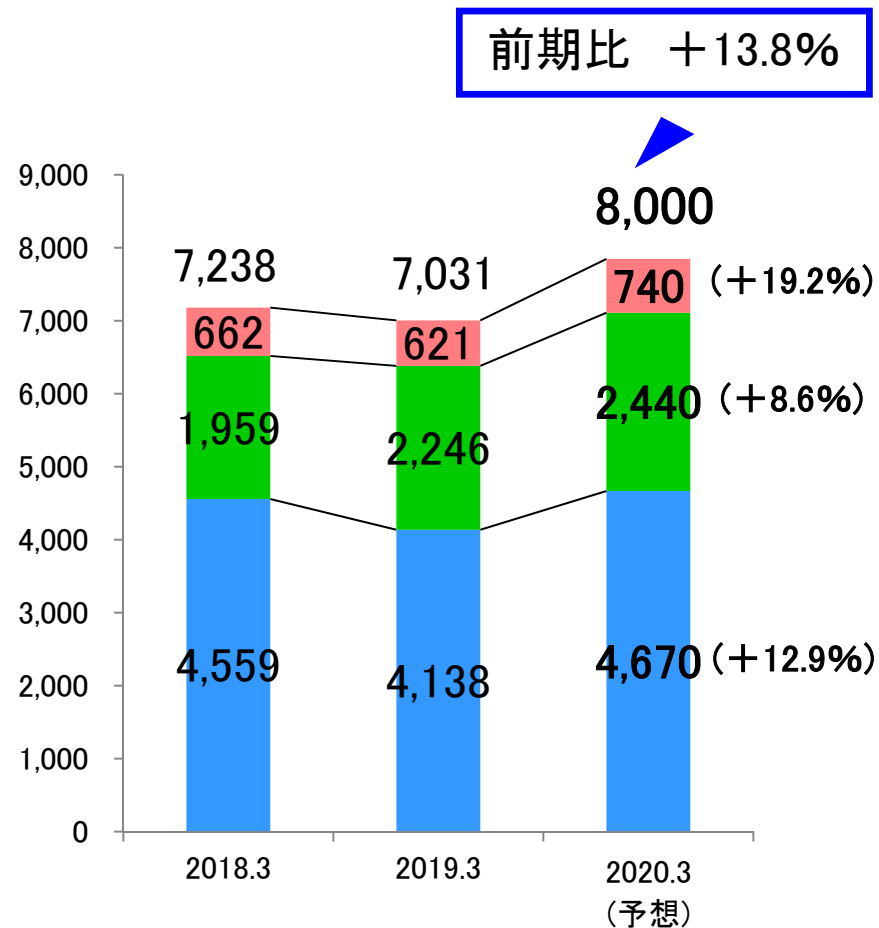
【 2020年3月期 計画について 】

売上高で6期連続最高、営業利益も過去最高をめざす！

売上高



営業利益



ボンド 土木建設 化成品

(単位:百万円 ()内%は前期比)

◇ボンドセグメント◇ 今期の主な取り組み

「ボンド 裁ほう上手」シリーズの拡販

- ・2012年発売後、シリーズ販売数 累計530万本を突破
- ・昨年発売のスティックタイプを中心に、さらに拡販！



TVCM、YouTube広告を活用

産業資材分野の強化

・「住宅関連用」に次ぐ 次の柱として、様々な分野へ 積極的に展開！

- 紙関連
- 鋼製パネル
- 電材
- 自動車
- 複層ガラス
- テープ

関係会社との連携強化

サンライズ



・サンライズ製品のコニシルートでの販売を強化
リフォーム業者・塗料業界へ注力

ウォールボンド工業



・新製品を投入し、インテリア業界のシェア拡大！
東西製造2拠点(群馬・滋賀)を活かし、連携強化
東日本(ウォールボンド)・西日本(コニシ)

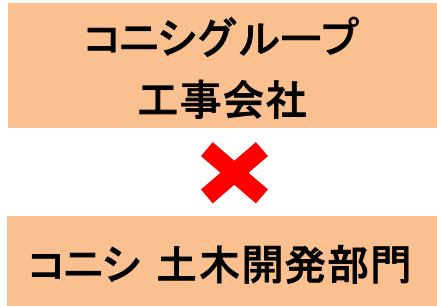
◇土木建設セグメント◇ 今期の主な取り組み

シーリング材のシェア拡大へ

- ・シェア増加中！ シェア16%(2009.3)→34%(2019.3) ※自社調べ
- ・「改修物件の取り込み強化」と「新築案件の獲得」に注力

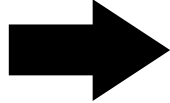


関係会社との連携強化



現場の要望・知識

製品開発



「社会インフラ 長寿命化」向けの
オリジナル工法の開発を推進中！

前期は、鉄道関係で新工法の採用決定

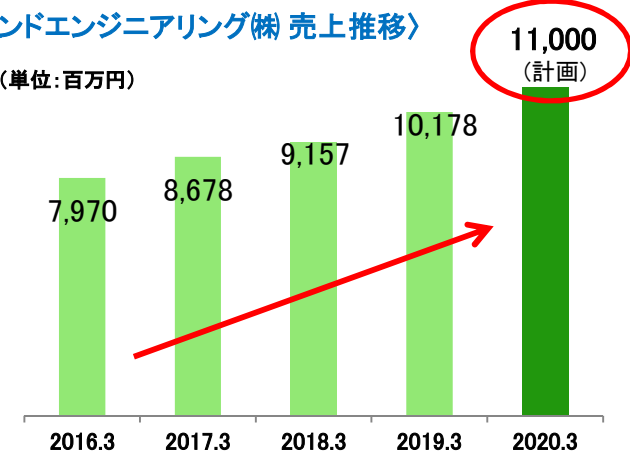
ボンドエンジニアリングの売上拡大

- ・前期に売上100億円を突破
- ・社会インフラ(道路・鉄道・橋梁)の補修・改修工事の取り込みをさらに推進
- ・大型物件の受注を強化 (今期受注180億円を計画)

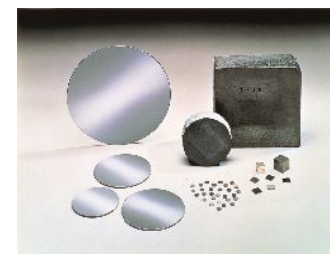
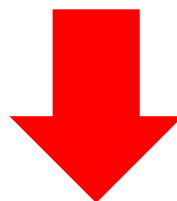


〈ボンドエンジニアリング(株) 売上推移〉

(単位:百万円)



化成品事業の構造改革の継続

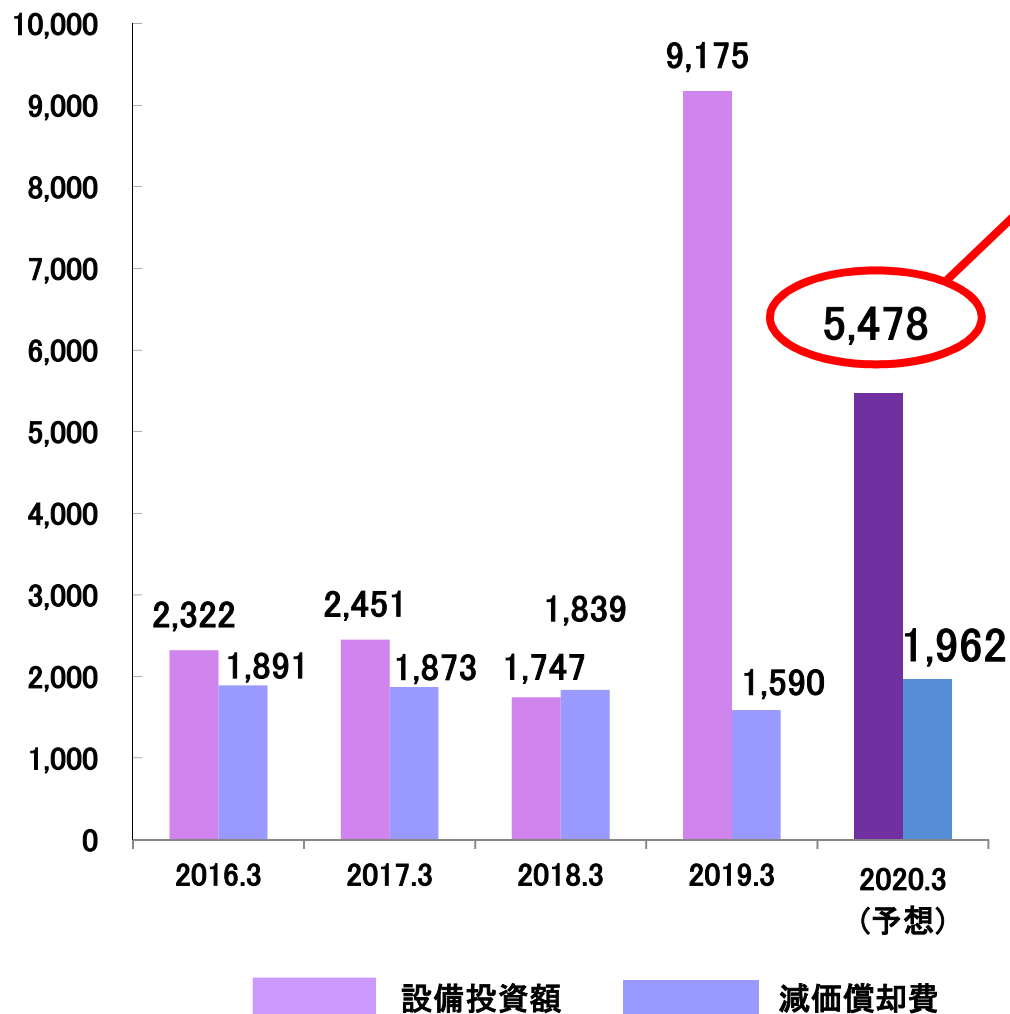


「新規商材、新規顧客の開拓」を継続して強化

- ・ 自社製造・加工品の販売検討（材料科学研究所との連携）
- ・ 自動車業界へ、電子材料・部品の積極的な新規開拓
- ・ 丸安産業と協業し、仕入れ・販売の機会を増やす
- ・ ボンド、土木建設の販売先への化成品商材の販売

設備投資額・減価償却費

(単位:百万円)



今期の主な設備投資

- ✓ コニシ関東支社 新設(浦和)
- ✓ 新基幹システム導入
- ✓ 製袋機・充填機 増設(滋賀工場)
- ✓ 工場排水処理施設 更新(滋賀工場)
- ✓ サンライズ小山工場 新設(栃木)
- ✓ 自動ラック危険物倉庫 新設(栃木物流)
- ✓ 一般倉庫 増設(滋賀物流)
- ✓ ボンドエンジニアリング名古屋支店建設
- ✓ トラック車両購入(自社配送化の推進)

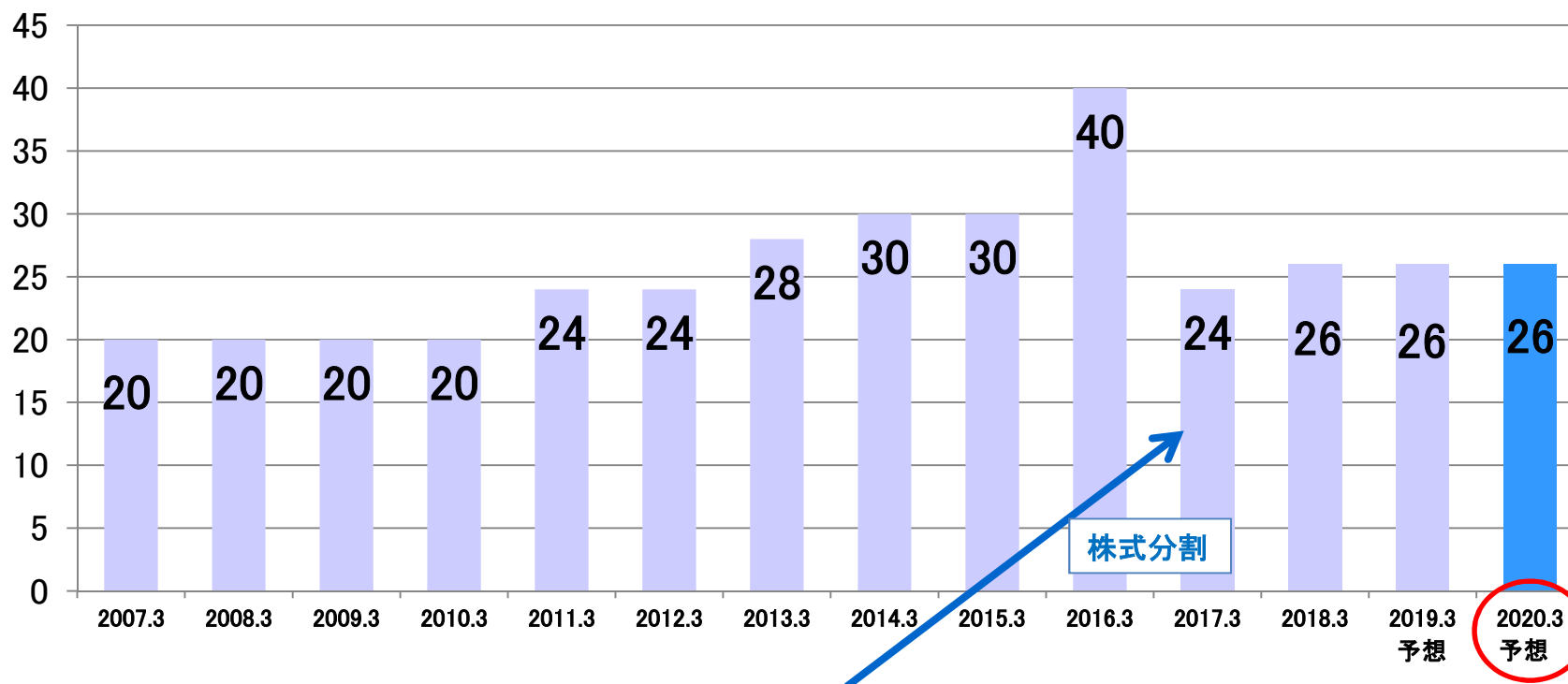


【配当に関する基本方針】

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と認識しております。毎期の業績等を勘案しながら、連結配当性向20%を目安に利益を還元するとともに、継続的な配当を実施する方針です。

〈1株あたり配当額の推移〉

(単位:円)



※2016年4月1日付にて **株式分割** しております。
2016年3月期以前の配当については、株式分割前の配当金の額を記載しております。